

別記様式（第3条関係）

開催記録

名 称	令和8年度 第1回 会津美里町本郷地域まちなか賑わい創出協議会
開催日時	令和8年6月23日（火） 午後6時30分から 午後8時30分まで
開催場所	本郷地域づくりセンター A研修室
出席者	参加者：15名（委員14名、オブザーバー1名） 事務局： 8名（にぎわい創造課5名、生涯学習課1名、コンサルタント2名）
議 題	・委嘱状交付 ・委員長、副委員長選出 ・事業概要・趣旨説明 （令和7年度の振り返り、「本郷まちなか賑わい創出基本計画」について） ・令和8年度の取り組みについて （令和8年度の進め方、社会実験について） ・本郷インフォメーションセンターの改修について
資料の名称	・次第 ・委員名簿 ・本郷地域まちなか賑わい創出協議会設置要綱 ・会津美里町本郷地域まちなか賑わい創出基本計画 ・資料1 令和7年度 振り返り ・資料2 令和8年度 予定 ・資料3 本郷インフォメーションセンター改修
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
内容	
委嘱状交付 1. 開会 2. あいさつ（課長） ・町では、本郷地域の中心市街地の活性化を図るため、令和7年度に「本郷地域まちなか賑わい創出協議会」を設立し「会津美里町本郷地域まちなか賑わい創出基本計画」を策定。 ・今年度は、本協議会において、当該基本計画に基づく取組を進めて行く。 ・具体的には、地域の皆様が主体となった活動を展開しながら、エリアプラットフォームの	

- 構築や、将来像を明確にした未来ビジョンの検討を進めていく。
- ・委員の皆様のアイデアや積極的な取り組みを本郷地域のにぎわいづくりに繋げていきたい。

3. 委員紹介（自己紹介）

各委員自己紹介を行った。

4. 委員長・副委員長選出

委員長はE委員、副委員長はH委員となった。

5. 報 告

（１）事業概要・趣旨説明

①令和７年度の振り返り

（事務局より資料１により説明）

令和７年度に、地域住民を主体とした「会津美里町本郷地域まちなか賑わい創出協議会」を立ち上げ、「会津美里町本郷地域まちなか賑わい創出基本計画」を策定した経緯について、官民連携まちなか再生推進事業、エリアプラットフォーム、未来ビジョンに関する概要を補足しながら、資料を用いて説明を行った。

②「本郷まちなか賑わい創出基本計画」について

（事務局より「会津美里町本郷地域まちなか賑わい創出基本計画」により説明）

令和７年度に策定した「会津美里町本郷地域まちなか賑わい創出基本計画」の概要について、資料を用いて説明を行なった。

～質疑応答～

（L委員）この計画は移住定住の増加を目的に取り組んでいくものか。

（事務局）交流人口の増加が移住定住に繋がっていくので、移住定住も目的のひとつである。

（委員長）観光、移住定住どちらも目的としている。

（O委員）昨年度はどのようなことをして、その成果は何だったのか。

実際にイベントを開催したのか。

（事務局）協議会の開催やアンケート調査、社会実験を実施し、成果として計画を策定した。イベントは開催していない。

今年度は計画に基づくにぎわいの創出を推進して行くために、住民の方が主体となり取り組みを展開していただく。

6. 協 議

（１）令和８年度の取り組みについて

①令和８年度の進め方

②社会実験について

（事務局より資料２により説明）

令和8年度の協議会は全4回の開催を予定しており、基本計画に基づき、大きく2つの取り組みを協議・実施していくことを説明した。

→ひとつめ：社会実験の実施

目的：地域住民が主体となる社会実験を行いながら、エリアプラットフォームの設立検討や、基本計画からの具体的な未来ビジョンの策定を推進する。

→ふたつめ：本郷インフォメーションセンター改修の実施設計に係る意見交換

目的：基本計画の重点事業のひとつである本郷インフォメーションセンターの改修について、令和8年度に実施設計を行うことになっていることから、改修内容について協議会で意見を伺う。

- ・「社会実験の実施」にあたり、協議会とは別で、部会の開催を想定。
- ・部会については、形式的な協議会ではなく、今年度取り組む社会実験等の企画や日程、費用など具体的な打合せを進めるため、お茶を飲みながらなど、ざっくばらんな開催を予定。→そのため委員報酬はなし
- ・部会案としては、「焼き物部会」「にぎわい部会」など。
- ・委員の皆様には、いずれかの部会に属していただきたい。
(学識経験者と委員長は所属ではなく両部会の相談役の立場とする。)
- ・初回の開催は事務局側で設定・連絡、以降は各部会で開催方法等を決めていただき、適宜進めていく形としたい。
- ・本日は、部会分けをしたあと、各部会で取り組む社会実験について、部会ごとにブレインストーミングを行なう。

～質疑応答～

(L委員)

部会は細分化していくこともあり得るのか。

(事務局)

細分化は理想的な形で、あり得る。(負担が大きくなる可能性もある。)

(事務局)

部会は「焼き物部会」と「にぎわい部会」で意義はないか。

(委員)

(異議なし)

～部会ごとに分かれてブレインストーミング～

【本郷焼部会】(委員7名)

大命題

■長期的視点での焼き物まちづくりに向けて

- ・大きなイベントは大変であることや、イベント単発で終わらせるのではなく、息の長いまちづくりとするため、1年ずつ小さな社会実験を積み重ねていくことで、焼き物

のまちの確立を図っていく。

- ・一度にすべての窯元と進められなくとも、協力が得られるところから進めていく。
- ・まちなかを巡るだけでも楽しいまちなみとするため、窯元だけでなく一般の住宅などにも焼き物を飾ってもらえる取り組みを少しずつ進めていく。（１年目：５カ所～２年目：１０カ所に～５年目には５０カ所になっている！というように）

■いまは歩く人がいないけれど・・・だからこそ取り組みを進める

- ・PRとなるための小さなイベントを実験的に開催し、少しずつ広める。
- ・まちなかにかくれ焼き物などを置き見つけたら特典をプレゼントなどの催しや、各窯元の特色ある焼き物サインを設置するなど、楽しめる仕掛けづくりで誘因力を高める。
- ・夜の焼き物行灯の写真やフォトスポットを創出することで、まずは「行ってみたい」と思わせるPRを実施する。

■誇らしい焼き物のまちに

- ・全体的に「焼き物のまち！」となるには時間がかかるが、少しずつ取り組むことで、逆にまちを訪れる方々に、あっちにこんな焼き物が飾ってある等々、住民とやり取りが生まれることで、「案内するような町である！」と誇らしく思ってもらう。
- ・まちなかの家並みのなかにも本郷焼を飾っていくことで、子どもたちにも焼き物を身近に感じてもらう。

今年度実施を目指す取り組み（案）

①焼き物行灯

- ・昨年度に引き続き、メーカーと協力して常設の行灯制作に向けて試作を続けたい。
- ・磁器は光を透過するが陶器はしないので、窯元ごとにデザインの検討をお願いする。
- ・行灯は、鬼瓦のろうそくのものも含めて、夜祭りで使えるといい。

②まちなかに焼き物を巡らす

- ・本郷学園の人数が減ってきている。制作したものを魅せる場があれば意欲も高まるし、まちなかに制作したものを置いてもらうような提案を進めたい。
- ・大きな狸の置物のようなものを制作してもらい、主要な場所に設置してフォトスポットを創出する。
- ・ポケットパークが点在しているが場所がわかりづらい所もあるので、そこに焼き物を設置してそれを巡る仕掛けづくりを進めることで、ポケットパークの活用も促進。
- ・じゃらんかけの舗装をどこかに整備できないか。（本郷インフォメーションの前など）

③人が来る仕掛け

- ・近場の人が意外と本郷焼を知らない。大きなイベントではなく、まずは会津若松など周辺を対象に、窯元を巡るミニセと市や行灯を灯す夜市などの催しを実施できないか。
- ・盆踊りや９月の秋祭りと合わせても良い。
- ・窯元で購入した器をもっていけば、COBACOなどの飲食店でその器で何かが飲食できるなど、何らかのサービスとセットで実施。
- ・かくれ焼き物をどこかに設置して、見つけたらプレゼントがあるなどの取り組み。

④写真によるPR

- ・焼き物のフォトスポットの写真によるPRや、夜の行灯のまちの風景のPR。

- ・夕焼け時など地元の押しの風景のPR。

■次回部会

- ・7月13日（月）午後7時00分より、場所は本郷インフォメーションセンター。

【にぎわい部会】（委員7名）

■にぎわいづくりに取り組むにあたって

- ・実証実験が単発のイベントで終わるのではなく、本郷地域の人口減少や窯元の後継者育成というような課題解決にむけた、移住定住や交流人口増につなげられるような「本郷ならではの」取り組みが重要。
- ・「週末そこに行けば、だれかが何かをやっている」という状況をつくることが大切。
- ・今回の実証実験の実施を通して、委員メンバーたちがにぎわいづくりに取り組んでいく体制(エリアプラットフォーム等)づくりにつなげていくことも重要。
- ・協議会や実証実験等の取り組みについては、町の広報等も活用しながら広く共有し、地域全体でにぎわいづくりに取り組む機運を高めていきたい。

■具体的なアイデア

- ・「マチミセ本郷」のイベント時に、まちなか賑わい創出基本計画内の重点事業を実験的に実施するのがよいのではないか。
- ・空き家を活用した民泊や、まちなかチャレンジキッチンなどの重点事業に興味がある。
- ・住民等によるライブなどの催しがあると、集客に効果があるのではないか。
- ・イベントの実施場所として、旧本郷第一小学校跡地や、まちなかに点在しているポケットパークを活用するのもよさそう。
- ・イベントの実施時期については、本郷の宵祭りの日は、本郷まちなかの雰囲気もよく、帰省客などの人出も多いため、候補の一つとして考えてはどうか。

■次回部会

- ・7月6日（月）午後6時30分より、場所は町が確認して確保。

（2）本郷インフォメーションセンターの改修について

（事務局より資料により説明）

- ・基本計画に基づき、本郷インフォメーションセンターの改修を予定している。今年度（令和8年度）に実施設計、次年度（令和9年度）に改修工事の予定。
- ・町の改修案は別添の資料のとおり。
- ・3回目の協議会（10月予定）で実施設計に関する意見聴取をするので、それまでに資料に目を通していただき、各自で考えをまとめておいていただきたい。
- ・展示内容など、主にソフト面の視点から意見をいただきたい。

（3）総括

A委員より総括をいただいた。

- ・ターゲットを明確にし、各部会それぞれの取り組みを推進してもらいたい。

(4) 今後の予定

事務局より今後の予定について説明した。

- ・第2回目の協議会の開催は8月上旬を予定。
- ・各部会の第1回目の開催については、事務局より通知。

7. その他

事務局より事務連絡をした。

- ・委員報酬振り込み：7月中旬予定。
- ・本協議会に関することで提案等があれば随時事務局まで。

8. 閉会

副委員長が閉会のあいさつをした。

以上